

# 総務文教常任委員会所管事務調査報告書

## 1. はじめに

全国各地で数々の自然災害が発生しています。本年の9月には台風15号の影響により、千葉県では強風で木々や電柱が倒れるなどし、多くの家屋が停電となり、また、屋根瓦がめくれ上がるなどの被害が発生しました。そして、10月12日の台風19号では、関東をはじめ広域にわたり多くの河川が氾濫し家屋が浸水した影響により、死傷者が多く発生し、被災地では、今なお不自由な生活を強いられている状況が続いています。

近い将来高い確率で発生するとされている南海トラフ地震をはじめ、台風などによる大雨での土砂災害などに備えていくことが重要であり、避難所整備は、地域防災の中核として大きな役割を担っています。

本委員会では、平成28年度に「地域防災における避難所整備について」をテーマに、本市の地域防災における避難所整備について調査を行いました。その後、現在の避難所の防災倉庫の現状等を調査した結果について報告します。

## 2. 防災倉庫の現状

昨年11月7日、市立総合体育館、さやか公園備蓄倉庫、東大池防災備蓄倉庫及び南第二小学校の4箇所の防災備蓄倉庫について現地調査し、担当者から説明を受けました。

- (1) 各防災倉庫の設置場所・備蓄状況について
- (2) マンホールトイレの設置について

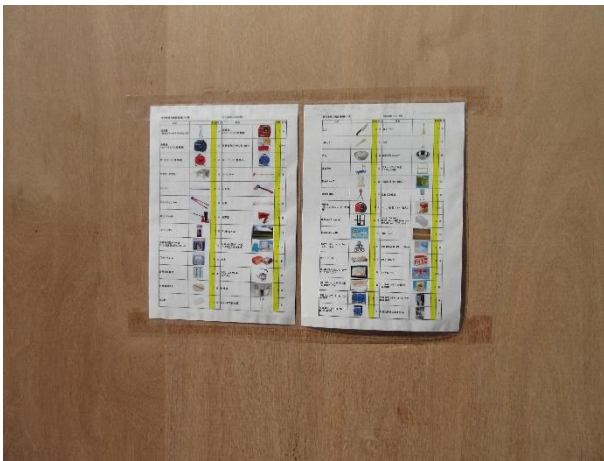
## 3. 調査結果

### (1) 市立総合体育館の防災倉庫

防災倉庫内の主な資機材内容については表のとおりです。

投光器（蛍光灯サークルライト） 1台	インバータガソリン発電機 1台
インバータガス発電機 1台	発電機用ガソリン缶（4缶入り） 2セット
コードリール（屋内用） 1台	コードリール（屋外用） 1台
大ハンマー 3本	リヤカー 1台
万能斧 5本	バール 5本
担架 2台	拡声器 2個
ボトルクリッパー 2本	油圧ジャッキ 1台
LED ランタン 10個	テント（2×3） 1張
災害用仮設トイレ（ニード名古屋式トリプルエース） 1台	災害用仮設トイレ（ニードP型ワンタッチテント） 2台
プライベートルーム 1台	段ボールベッド 5セット
毛布 100枚	スタンド式投光器 1台

ステンレスケトル (8ℓ) 3個	料理鍋用フタ 2個
料理鍋 2個	竹ターナー 2本
お玉 3本	まな板 3枚
包丁 3本	深型ボウル30cm 3個
桧しゃもじ 1本	ざる 3個
スチールラック中量30kg×3段 1台	運搬台車 1台
石油ストーブ 2台	灯油缶詰 (1ℓ×8缶入) 4セット
大型扇風機 2台	気化式冷風機 1台
発電機 1台	ガソリン缶詰 (1ℓ×4缶入) 1セット
救急箱 (50人用) 1セット	1セットポリタンク (20ℓ) 5個
非常用トイレトイレットペーパー (24ロール入り) 2セット	カセットボンベ 4組
カセットコンロ 3台	非常用水電池 100本
使い捨てトイレしびん男性用 (100個入り) 1箱	使い捨てトイレしびん女性用 (100個入り) 1箱
災害用マンホールトイレ (標準) 4式	災害用マンホールトイレ (多目的) 1式
災害時マンホールトイレ用便器等器材 5組	可搬式緊急送水ユニット 1式



## (2) さやか公園備蓄倉庫

備蓄倉庫内の主な資機材内容については表のとおりです。

毛布 757枚	寝袋 6個
タオル 1,273枚	マスク 1,240個
石鹸 96個	生理用品 6,240個
紙おむつ 576個	大人用紙おむつ 104個
ポリタンク 10個	ゴミ袋 4,850個
ポケットティッシュ 1,300個	バケツ 10個
救急箱 12個	日用品 15個
救護用テント 6個	非常用飲料水袋 (ビニール) 130個
紙皿 2,900個	アルファ化米 4,600食
高齢者食 200食	粉ミルク 52人
哺乳瓶 55本	乾パン 2,860食
ポータブル簡易トイレ 1,240セット	ダンボール組立トイレ 40セット
簡易トイレ 36基	簡易トイレ用洋式オプション 18セット
トイレトイレットペーパー 1,400個	カセットコンロ 6個
カセットボンベ 96個	LPガスコンロ 26個
ラジオ 14台	ライター 31本
懐中電灯 60個	乾電池 200個
ガソリン用ポリタンク 3個	トラロープ (巻) 8個

安全靴 48足	ヘルメット 113個
ライフジャケット 10着	保安灯 36個
ゴムボート 1セット	救助セット 3セット
救急医療セット (50人用) 14セット	担架 4台
炊飯器 (LPガス、薪両用) 55ℓ 1個	炊飯器 (5升用) 12個
炊飯器 (7升用) 2個	自転車 5台
電池メガホン 12個	デジタルカメラ 5台
土のう袋 2,300袋	
養生シート (2間×3間) 92個	養生シート (3間×4間) 13個



### (3) 東大池公園防災備蓄倉庫及び街路灯

東大池公園は南部地域における災害時の避難場所となっており、平成30年度に防災備蓄倉庫が新しく設置されました。

また、公園には太陽光発電設備と蓄電池設備を備えた街路灯が設置されており、夜間は蓄電した電力で点灯しています。非常時にも電源を確保し、さまざまな機器に電源供給が可能となっています。





防災備蓄倉庫内の主な資機材内容については下記のとおりです。

毛布 2, 130枚	アルファ化米 4, 400食
高齢者食 200食	乾パン 1, 440食
発動発電機 2機	ガソリン携行缶 1缶
養生シート (2間×3間) 110個	養生シート (3間×4間) 46個



#### (4) 南第二小学校防災倉庫

①防災倉庫内の主な資機材内容については表のとおりです。

投光器 (蛍光灯サークルライト) 1台	インバータガソリン発電機 1台
インバータガス発電機 1台	発電機用ガソリン缶 (4缶入り) 2セット
コードリール (屋内用) 1台	コードリール (屋外用) 1台
大ハンマー 3本	リヤカー 1台
万能斧 5本	バール 5本
担架 2台	拡声器 2個
ボトルクリッパー 2本	油圧ジャッキ 1台
LED ランタン 10個	テント (2×3) 1張
災害用仮設トイレ (ニード名古屋式トリプルエース) 1台	災害用仮設トイレ (ニード P 型ワンタッチテント) 2台
プライベートルーム 1台	段ボールベッド 5セット
毛布 100枚	スタンド式投光器 1台
ステンレスケトル (8ℓ) 3個	料理鍋用フタ 2個
料理鍋 2個	竹ターナー 2本
お玉 3本	まな板 3枚
包丁 3本	深型ボウル30cm 3個
桧しゃもじ 1本	ざる 3個
スチールラック中量30kg×3段 1台	運搬台車 1台
石油ストーブ 2台	灯油缶詰 (1ℓ×8缶入) 4セット
大型扇風機 2台	気化式冷風機 1台
発電機 1台	ガソリン缶詰 (1ℓ×4缶入) 1セット
救急箱 (50人用) 1セット	1セットポリタンク (20ℓ) 5個
非常用トイレトーパー (24ロール入り) 2セット	カセットボンベ 4組
カセットコンロ 3台	非常用水電池 100本
しりべんトレペ (100個入) 啓発用 2箱	レスキューキット 1組
災害用マンホールトイレ (標準) 4式	災害用マンホールトイレ (多目的) 1式
災害時マンホールトイレ用便器等器材 5組	可搬式緊急送水ユニット 1式



## ②マンホールトイレ

災害用マンホールトイレの実物を確認し、また、下水管路に流下させる仕組みについて説明を受けました。



## 4. まとめ

### (1) 防災備蓄倉庫について

備蓄倉庫内の資機材内容については、一覧表とともに内容物の写真がまとめられ、備蓄されている備品の内容が分かるようになっており、有事の際の活動を円滑に進められるものと思われま。

避難所に設置されている防災倉庫の設置場所は、体育館の裏や校舎横など様々であり、一目で防災備蓄倉庫としての存在が分かるよう、防災倉庫の正面及び側面の三方向すべてに文字を記載するほうが望ましいと考えます。

また、実地調査で確認した防災備蓄倉庫については、おおむね整理整頓、管理が

行き届いていましたが、一部の倉庫では、備蓄品が多いことや、大型のダンボールで収納されているものが多いことから、必要な物が瞬時に取り出せない点が危惧される場所です。これらダンボールの外側すべての面に内容物が分かるようにし、それに合わせて、出庫した数や残数を記入する必要があると考えます。

また、現在備蓄されている備品に加え、洗剤、除菌剤及び殺虫剤などの衛生管理に関する備品の拡充が必要であると考えます。

コンテナタイプの倉庫では、倉庫内に照明がついておらず、倉庫の入口付近に懐中電灯も配備されていませんでした。夜間でも、瞬時に使用できるように照明器具等を入口付近に備えていただくよう改善を要望します。

備蓄品に関しては、備蓄物資に対するニーズの多様化や数量の増加により、コンテナ内の格納スペースの不足や備蓄物の管理の複雑化が課題となっています。年に1度、総合防災訓練等に合わせて、在庫数確認のための棚卸しを実施するなど、備蓄品の適正な管理及び更新に努めていただくことを要望します。

## (2) マンホールトイレについて

マンホールトイレは、災害時においても日常使用しているトイレに近い環境を迅速に確保できるという特徴や、災害時による断水時でも、貯水槽などの水を利用して、汚物を一気に下水道管へ流す仕組みから、現在、各地で災害時に活用されています。

また、従来のテント型のマンホールトイレでは、テントを破られてしまうなど、安全面に不安がありましたが、本市が採用したボックス型マンホールトイレについては強固なパネルが使用されていることや、これにより扉を施錠することが可能となっていることから、安心して使用できる配慮がされています。その一方で、施錠が可能になることにより、閉じ込められる事態の発生や防犯上の対策として、トイレ内に防犯ブザーを設置するなどの新たな対策を講じる必要があります。

マンホールトイレの設置については、組立マニュアルがスマートフォンなどでQRコードを読み取って閲覧できるようになっており、誰でも組み立てることができるようになっています。しかしながら、地震などの大災害が起きた場合に、一早くにマンホールトイレが利用できるよう、地域の防災訓練などで定期的に設置の訓練を行うなど、実際に体験しておくことも重要であると考えます。

長期にわたる避難生活を円滑に過ごすためには、安全及び衛生対策は大変重要であり、精神的なストレスを軽減するためにも、プライバシーが守られた清潔なトイレ環境の整備に引き続き努めていただきたいと思います。

### (3) その他

市立総合体育館においては、シャワー室が完備されています。避難所における風呂やシャワーは、避難者にとってはトイレと同様に衛生面で必要なものであり、また、精神的な面からも大事な設備と言えます。災害時の使用については一定のルールが必要になりますが、優先的に災害時用の電源の確保に努め、設備を有効に活用していただきたいと思います。

また、避難所整備におけるペットの避難場所の確保や避難所へのペットの持ち込みなど、新たに取り組むべき課題もあり、市としての対応が求められています。

今回の調査では、防災備蓄倉庫の備蓄品の選定や用途だけでなく、本市が「防災」に対して普段から工夫を凝らした取組を見て取ることができました。

近年、各地で発生した大地震や風水害から得られた教訓や、今後発生が予想される大規模災害、これらに伴う被害や対応方法などを随時見直すとともに、災害の発生時により迅速で適切な対応が行えるよう、また、安心な市民生活の確保のため、市民ニーズに応じた備蓄物資の整備にも努めていただき、本市の防災力のさらなる向上に取り組んでいただきたいと考えます。

総務文教常任委員会 所管事務調査 協議・検討状況

日 程	内 容
令和元年 9月13日	調査テーマ及び調査内容等の検討及び決定
10月 7日	現地調査の調査場所、調査スケジュールの決定
11月 7日	現地調査 ・総合体育館 ・さやか公園備蓄倉庫 ・東大池公園防災備蓄倉庫 ・南第二小学校防災倉庫 ・マンホールトイレ
12月13日	意見集約及び報告書の検討
1月22日	報告書の検討及び決定



総務文教常任委員会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 会 派
委 員 長	松 尾 巧	日本共産党議員団
副委員長	上 谷 元 忠	改新さやま
委 員	片 岡 由利子	公明党
委 員	中 野 学	大阪維新の会
委 員	西 野 滋 胤	大阪維新の会
委 員	花 田 全 史	みらい創新
委 員	深 江 容 子	日本共産党議員団
委 員	松 井 康 祐	政風クラブ